

浜田港拠点化形成研究会集荷対策WGの活動状況

1. H28年度浜田港の利用状況 [H29.2月時点]

(1) コンテナ貨物

- ・ 輸出は、韓国向けヒノキ丸太の需要回復や、新規貨物の増加などにより対前年比10.8%の増加
- ・ 輸入は、県内製造業の原材料輸入が堅調に推移し、対前年比19.8%の大幅増加

(2) 中古車

- ・ H28年6月より運航事業者がFESCO社から(有)MW-LINE(本社京都府舞鶴市)に変更
- ・ 10月以降、ロシア経済が若干持ち直したことや、県外事業者による集荷が増えたことにより、利用台数が増加

【年度別コンテナ貨物・中古車実績】



2. 集荷対策ワーキンググループの活動状況

(1) 第1回WG会議の開催(7月1日)

①活動方針

- ・ 広域的なポートセールスを行うため、関係機関の連携を強化していく。
- ・ 利用企業等のニーズの把握

②新規貨物の可能性について検討

- ・ 島根ビジネスサポートオフィス(タイ)の活用
- ・ しまね産業振興財団やジェットロ松江と連携した事業者の支援



7/1 集荷対策WG会議 浜田港視察

(2) WG会議を踏まえた取組状況

①利用可能企業の情報収集(7月～9月)

- ・ 構成団体から企業情報を収集し、有望企業のリストアップ

②関係者が連携したポートセールス(10月～)

- ・ 石見全域に加え、広島県北部、出雲市の企業に対し、浜田港振興会、浜田市、島根県が関係市町等と連携してポートセールスを実施

新規にアプローチした企業 84社

(3) 第2回WG会議の開催（2月14日）

①利用企業の視察

島根合板株式会社

②新規貨物の可能性について検討

- ・ 韓国の日本産ヒノキの需要回復に対応した、中国山地産ヒノキの新規開拓
- ・ 生産資材の共同購入による新規貨物の開拓
- ・ 国内貨物の可能性



2/14集貨対策WG会議 利用企業視察

③H29年度の活動方針の検討

○関係者が連携した広域的なポートセールスの展開

- ・ 利用可能企業の情報収集
- ・ 浜田港振興会・浜田市・島根県が関係市町等と連携した企業訪問の実施
- ・ 荷主に対するインセンティブの検討

○新規貨物掘り起こし

○国内他港との連携

(4) 浜田港振興会等による浜田港のPR活動

①ポートセミナーイン広島（浜田港振興会主催 7月29日）

広島市内の企業を対象とした浜田港の概要と助成制度をPR

②島根県とロシア沿海地方との交流25周年記念イベントを活用したウラジオストクでの島根県産品のPR

（島根県・ロシア貿易発展プロジェクト実行委員会主催 10月8日～10日）

- ・ 食品物産展（日本食小売店 DANRAN）
- ・ 工芸品展（アルセニエフ博物館）
- ・ しまねの食と酒と器を楽しむイベント

③山陰ポートセミナーin出雲

（浜田港振興会・境港振興会主催 11/17）

- ・ 浜田港及び境港の概要と助成制度をPR



10/8～10 工芸品展 アルセニエフ博物館

④ロシア向けワインと日本酒の試飲商談会の開催

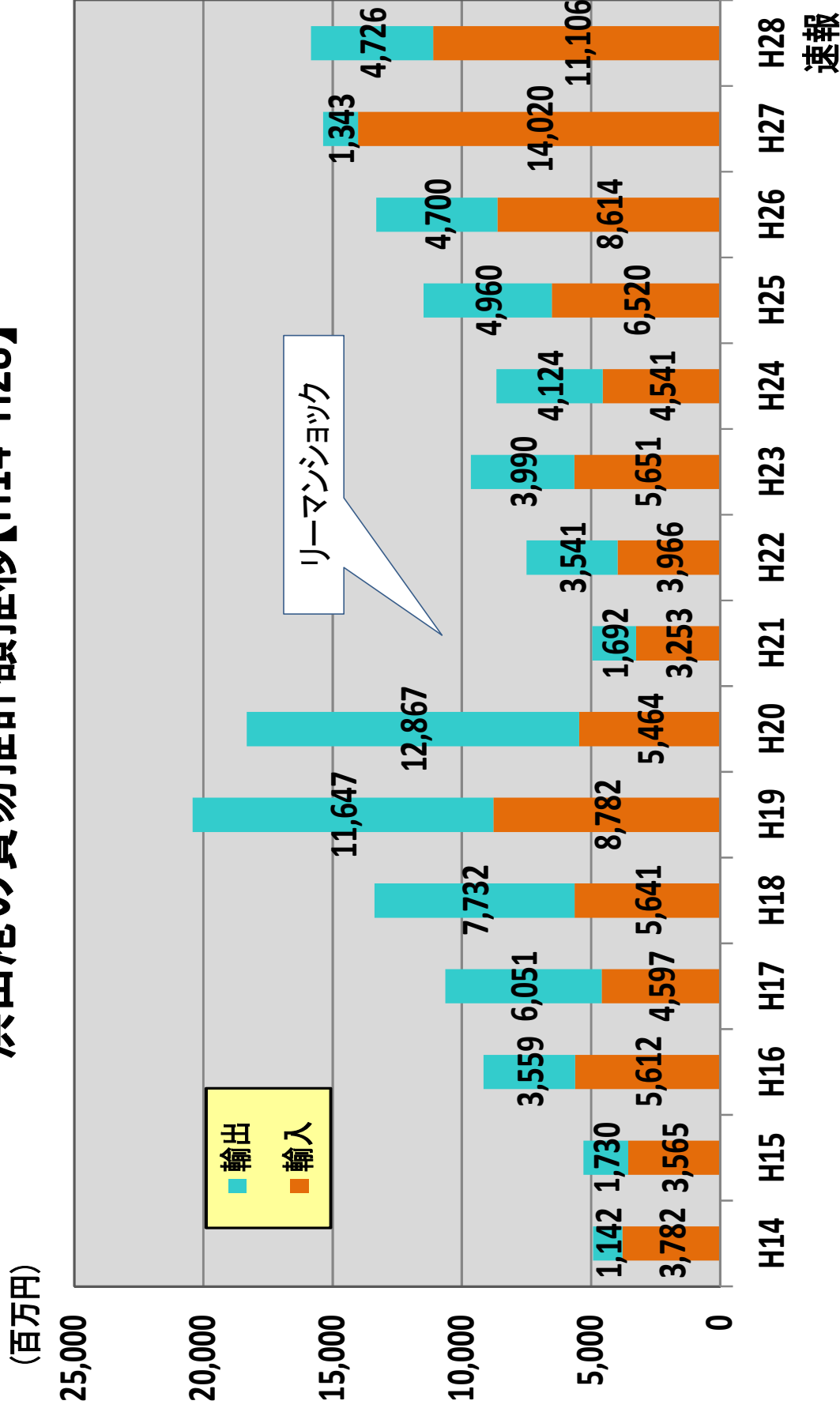
（ロシア貿易発展プロジェクト実行委員会 3/15 予定）

- ・ 在モスクワ日本国大使館との共催で、ロシアのバイヤー等に対して、日本酒、ワインと県産食材の試飲会・商談会の開催に向け準備中。

浜田港の貿易額推移(暦年)

資料
1-②

浜田港の貿易推計額推移【H14~H28】

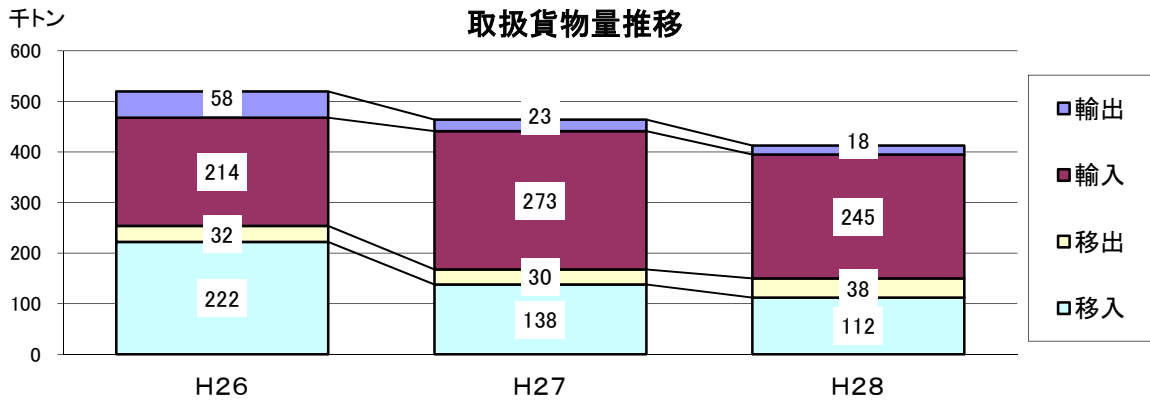


①貨物全体

(単位:トン)

	H26	H27	H28		
			対H26	対H27	
輸 出	58,274	22,572	17,501	30.0%	77.5%
輸 入	214,311	272,570	245,045	114.3%	89.9%
移 出	31,568	29,736	37,506	118.8%	126.1%
移 入	222,456	138,067	112,111	50.4%	81.2%
合 計	526,609	462,945	412,163	78.3%	89.0%

中古車・ヒノキ原木の減
原木、PKSの減
海底調査資材の増
セメントの減



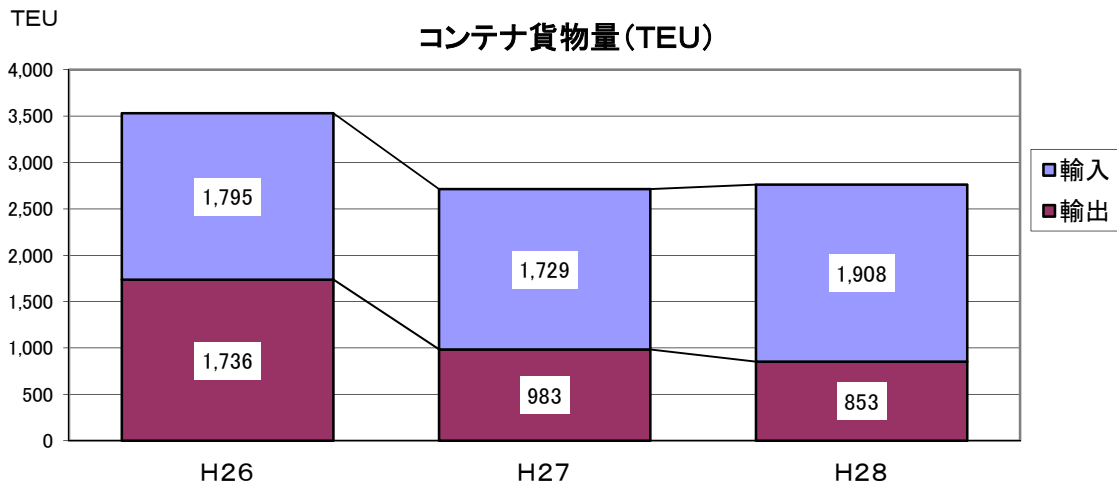
②コンテナ貨物

(単位:TEU)

	H26	H27	H28		
			対H26	対H27	
輸 出	1,736	983	853	49.1%	86.8%
輸 入	1,795	1,729	1,908	106.3%	110.4%
合 計	3,531	2,712	2,761	78.2%	101.8%

ヒノキ原木の減
企業の原料輸入増

※ 1TEU=20フィートコンテナの1個分



③ロシア向け中古車輸出

(単位:台)

	H26	H27	H28		
			対H26	対H27	
輸 出	3,477	733	559	16.1%	76.3%

平成28年6月より、運航事業者がFESCO社から(有)MW-LINE(本社 京都府舞鶴市)に変更

定期コンテナ航路 貨物の状況

資料1-④

1. H28年度 H29年2月までの状況

単位: TEU

	H26年度	H27年度	H28年度	対前年度	
				対H26	対H27
輸出	1,499	751	832	55.5%	110.8%
輸入	1,613	1,524	1,826	113.2%	119.8%
合計	3,112	2,275	2,658	85.4%	116.8%

韓国向けヒノキ丸太の安定

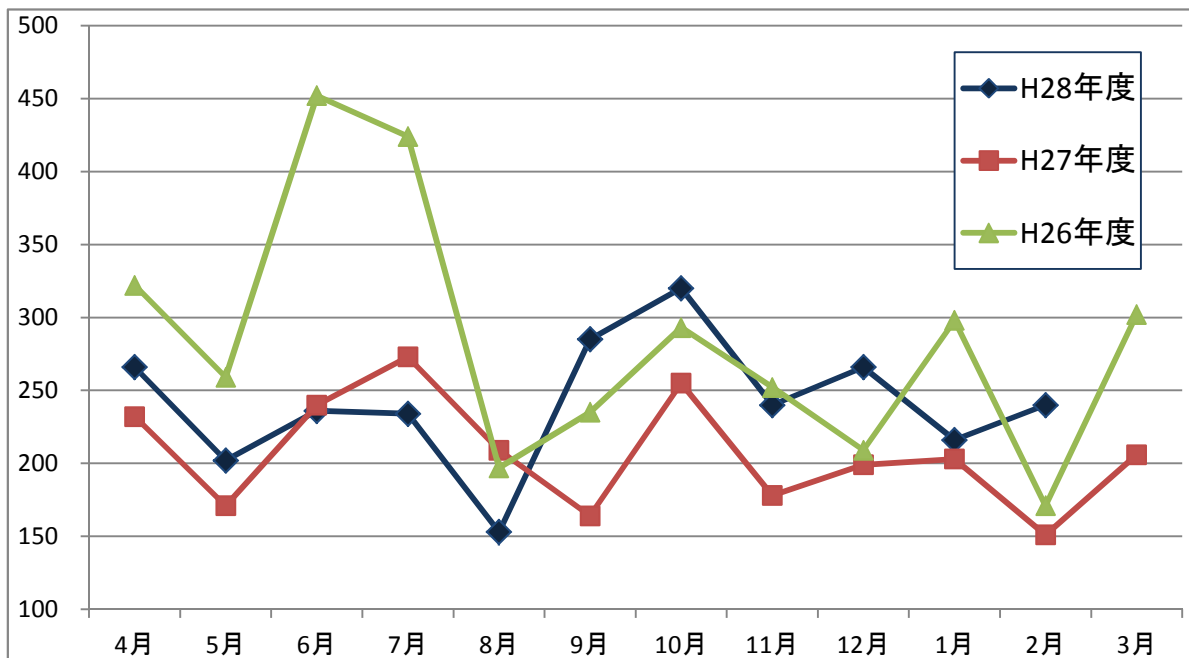
県内企業等の原材料輸入が堅調

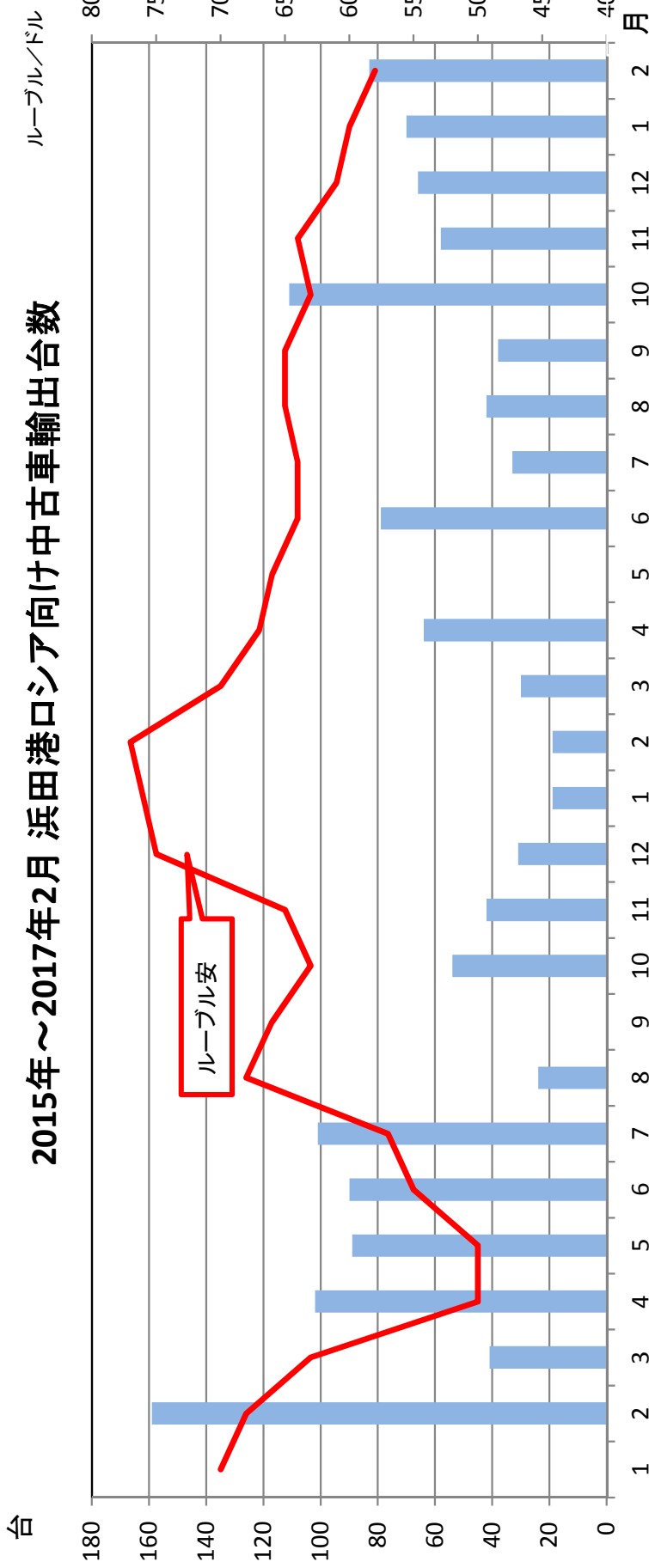
2. 月次推移

単位: TEU

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
H28年度	266	202	236	234	153	285	320	240	266	216	240		2,658
H27年度	232	171	240	273	209	164	255	178	199	203	151	206	2,481
H26年度	322	259	452	424	197	235	293	252	209	298	171	302	3,414

単位: TEU







年	2015年												2016年												2017年	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
寄港回数	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
台数	0	159	41	102	89	90	101	24	0	54	42	31	19	19	30	64	0	79	33	42	38	111	58	66	70	83
2015年間計：733台													2016年間計：559台													

釜山(韓国)定期コンテナ航路と ウラジオストック(ロシア)RORO船航路

資料
1-⑥

釜山航路 船社名	南星海運株式会社 (NAMSUNG SHIPPING CO.,LTD.)	
寄港日・ スケジュール	毎週土曜日 釜山(木)→釜山新港(金)→ 浜田港(土) →水島(月)→伊予三島(月) →釜山(火)	
サービス	韓国釜山でのトランシップにより世界各国と接続	

ウラジオストック航路 運航会社名	MW-LINE社	
寄港日・ 寄港日	月1～2便の配船	
サービス	自動車輸送のほか、バラ積み貨物の輸送が可能	

代理店：浜田港運(株)

集荷拡大対策＜浜田港国際定期コンテナ航路利用促進事業補助金＞

浜田港振興会				
実施主体	浜田港振興会			
メニュー	航路新規利用支援	輸出促進支援	輸出入促進支援	リーファーコンテナ輸出入支援
補助対象	浜田港の国際コンテナ航路を初めて利用し、輸出入を行った者(荷主企業) ※初回利用から1年間の助成対象	浜田港の国際コンテナ航路を利用し、1年度中に30TEU以上の輸出を行った者(荷主企業)	浜田港の国際コンテナ航路を利用し、1年度中に250TEU以上の輸出入を行う計画がある者で、かつ振興会との事前協議が整った者(荷主企業)	浜田港の国際コンテナ航路を利用し、1年度中にリーファーコンテナ(冷蔵冷凍コンテナ)貨物の輸出入を行った者(荷主企業)
助成額	2万円／1TEU ※上限 30万円 【東南アジアプレミアム】 東南アジア向けは 1万円／1TEUの加算 上限15万円)	1万円／1TEU ※上限100万円	1万円／1TEU ※上限400万円	2万円／1TEU (対前年度比の増加分に対し、5千円／1TEUの加算) ※上限50万円

国際RORO船航路運航安定化等対策事業＜ロシア向け貨物補助＞

浜田港ロシア貿易発展プロジェクト実行委員会	
実施主体	浜田港ロシア貿易発展プロジェクト実行委員会
メニュー	コンテナ貨物等の輸出入 中古車の輸出
補助対象と助成額	①コンテナ貨物 2万円／1TEU (リーファーコンテナ(冷蔵冷凍コンテナ) 1 2万円／1TEU) ②バルク貨物 2千円／1㎡または1t 1台につき 1万円 (中国5県外から集荷) または 1台につき 5千円 (中国5県内から集荷)

※1TEU=20フィートコンテナ1本